

乙丸の獅子舞【おとまるのししまい】



開催場所
開催日

乙丸八幡神社
7月12日

【芸能の概要】

乙丸の獅子舞は、大分八幡神社の獅子舞とほとんど同じ形で、笛・太鼓の囃子で獅子舞を舞う。獅子舞の種類は3種類で「イリハ」、「ナカ」、「キリ」の順序で舞う。現在、乙丸八幡神社の氏子の戸数が41戸(平成15年3月末現在)になってしまったため、継承が難しくなっている。16時頃から、祝い事があった希望の氏子宅のみ舞う。

【芸能の特徴】

獅子舞は約1100年前、唐から遣唐使によって日本に伝えられたといわれている。享保年間(1716~1736)に京都石清水八幡宮から全国の主要神社へと普及し、筑前国では大分八幡宮に伝わったといわれている。また天明・天保の大飢饉(1783~1788・1833~1836)が起こり多くの人々が餓死、或いは疫病のため亡くなった。この頃から五穀豊穡(雨乞い)と悪疫祓いを祈願するため各地で普及した。当地の獅子舞は戦後少々さびれたが、最近氏子の協力により徐々に昔に戻りつつある。当地方の獅子舞は大分八幡宮の獅子舞を源流としているものが多く、この獅子舞もほぼ同じ形式である。獅子舞の曲は道行き、イリハ、ナカ、キリ、神殿入りの5曲である。お汐井(塩)で身を清め、猿の面(猿田彦大神)を鉾に付け、シンボル旗である「清道」、ご神燈、幟、獅子、笛、太鼓の順で村中を練り歩く。

【使用する祭具・道具など】

獅子頭は雌雄一対で、丸木をくり抜いて作られており、約100年前に製作されたといわれている。

・アクセス

JR 筑豊本線新飯塚駅より車で15分
国道201号線東伊川交差点より約1kmで乙丸交差点すぐで乙丸八幡神社

・周辺の観光

勝盛公園
嘉穂劇場
伊藤伝右衛門邸
飯塚コスモス芸術祭(3月中旬)
まつり飯塚どんたくフェスティバル(4月中旬)
飯塚納涼花火大会(8月)
長崎街道飯塚宿「宿場祭」(11月)

・近くの特産品

お菓子、りんご、菊。

